

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-0012

住所 川崎市高津区坂戸3丁目2番1号KSP西405

氏名 ケイエスピー熱供給株式会社

代表取締役社長 吉村 浩一 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ケイエスピー熱供給株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 KSP西405		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	F	電気・ガス・熱供給・水道業
	中分類	35	熱供給業
主たる事業 の内容	熱供給事業法に基づいたかながわサイエンスパーク地域への熱供給		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,799	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2022 年度 ～ 2024 年度 (報告年度 2024 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 586 (調) 572	(実) 552 (調) 548	(実) 773 (調) 517	(実) 394 (調) 394	(実) 568 (調) 555
削減率		(実) 5.8 % (調) 4.2 %	(実) -31.9 % (調) 9.6 %	(実) 32.8 % (調) 31.1 %	(実) 3.1 % (調) 3.0 %

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(任意記載)

原単位等の活動量		販売熱量			原単位等の単位	t-CO2/GJ
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)	(2024年度)		
排出量原単位等の値	0.01188	0.01092	0.01518	0.007814	0.01152	
活動量の値	49,297	50,547	50,919	50,421	-	
排出量原単位等の削減率		8.1 %	-27.8 %	34.2 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	冬季に国の令和4年度電気利用効率化促進対策事業(節電プログラム促進事業)に参加し、節電のため、温水製造に関して、電気機器の稼働を抑制し、その分をガス機器の稼働で補った結果、温室効果ガスの排出を削減させることが出来た。				
第2年度	基準年度と比して冷水需要が増加した。冷水需要増に対して冷水製造を増やすにあたり、電気機器より温室効果ガス排出割合が高いガス機器の稼働を増やさざるを得なかった。この結果、排出量が増加した。				
第3年度	冷水製造するにあたり、冷水需要が当社設備にとって効率的に製造できる範囲にあったことが多かったため、温室効果ガス排出量が減少した。				
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		熱源機器の経年劣化による性能低下がみられるものの、高効率機器の優先運転などに努めた結果、最終年度において目標を達成できた。			
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		熱源機器の経年劣化への対策として、2026年度竣工予定でインバーターターボ冷凍機を増設することとしている。			

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)(任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①高効率機器の優先運転 <ul style="list-style-type: none"> ・蓄熱槽運用変更 ②プラント効率を上げる諸条件を探し運転効率を上げる <ul style="list-style-type: none"> ・ターボ冷凍機運用変更 ・冷却塔の運用変更 ③配管まわりの保温強化 ④機器の整備 ⑤機器更新時に、省エネ機器を導入する <ul style="list-style-type: none"> ・通路照明のLED化 ・高効率モーターの導入
<p>第1年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①国の令和4年度電気利用効率化促進対策事業(節電プログラム促進事業)に参加(追加実施) ②高効率機器の優先運転 <ul style="list-style-type: none"> ・蓄熱槽積極的運用 ③プラント効率を上げる諸条件を探し運転効率を上げる <ul style="list-style-type: none"> ・ターボ冷凍機運用変更 ・冷却塔の運用変更 ④配管まわりの保温強化 ⑤機器の整備
<p>第2年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①高効率機器の優先運転 <ul style="list-style-type: none"> ・蓄熱槽積極的運用 ②プラント効率を上げる諸条件を探し運転効率を上げる <ul style="list-style-type: none"> ・ターボ冷凍機運用変更 ・冷却塔の運用変更 ③配管まわりの保温強化 ④機器の整備
<p>第3年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①高効率機器の優先運転 <ul style="list-style-type: none"> ・蓄熱槽積極的運用 ②プラント効率を上げる諸条件を探し運転効率を上げる <ul style="list-style-type: none"> ・ターボ冷凍機運用変更 ・冷却塔の運用変更 ③配管まわりの保温強化 ④機器の整備
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>熱源機器の経年劣化による性能低下がみられるものの、高効率機器の優先運転などに努めた結果、最終年度において目標を達成できた。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

4 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	川崎市温暖化対策推進会議(C C川崎エコ会議)へ参加し、川崎市が取組む温暖化戦略(C Cかわさき)に役に立つことができるよう一員として貢献したい。
第1年度	川崎市温暖化対策推進会議(C C川崎エコ会議)へ参加し、川崎市が取組む温暖化戦略(C Cかわさき)に役に立つことができるようメールマガジンを社内で回覧した。
第2年度	川崎市温暖化対策推進会議(C C川崎エコ会議)へ参加し、川崎市が取組む温暖化戦略(C Cかわさき)に役に立つことができるようメールマガジンを社内で回覧した。
第3年度	川崎市温暖化対策推進会議(C C川崎エコ会議)へ参加し、川崎市が取組む温暖化戦略(C Cかわさき)に役に立つことができるようメールマガジンを社内で回覧した。

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	586 t-CO ₂	552 t-CO ₂	773 t-CO ₂	394 t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	1,642 KL	1,748 KL	1,793 KL	1,799 KL
事業所の数	1	1	1	1

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギーセンター	川崎市高津区坂戸3-2-1	586	552	773	394

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度